

大野 統 (おおの おさむ)



☆就業している分野

教育関連（小学生から高校生向け学習塾、高校生向けキャリア教育、共に学ぼう大人塾）
副業として珈琲焙煎士・珈琲マイスター

☆信州おもてなしマイスターとして自分が目指しているおもてなし

私にとっておもてなしの原初は中学時代に触れた宮沢賢治の世界にあったように思う。

「雨にも負けず」の生き方と、彼が生前に出版することができた唯一の詩集「春と修羅」の世界感。自分が大切にしたい人や困った人があればその助けにならんとし、現実の中でのジレンマに苦しみながらも大切な人たちのために歯がみしながらもひたすらでありたいと願うたった一人を、賢治は修羅と描いたのではなかったか。たまたまなのか令和元年の暮れは長野を台風が襲い、令和二年から三年は世界がコロナ禍に晒され、それぞれが一人の修羅としての生き様を問われているようにすら思える時代の中で、少しでも多くの人々の思いが実現できるように力を尽くすことができれば、私は嬉しい。そしてそうした願いをそれぞれに異なる形やビジョンを持ちながら実現しようとしている集団、自分以外の仲間の思いを叶えるために一肌脱いでやろうと企んでいる集団こそが未来塾なのだろうし、この時代にこそ未来塾の本来の力が発揮されることを祈念してやまない。ようやく教え子たちの夢の実現のために、あるいは困ったことの解決のためにわずかながらも力を尽くせるようになってきたこの時期に、マイスターになることができたことにも何かしらの意味があると確信している。

☆実施したおもてなしの事例

①酒ツーリズム

地元の方・酒造・酒販を交えて県内外からのお客様をお招きしての第一回を令和元年初夏に実施。現在酒造を行っている74の蔵を大凡15の地域に分け、酒蔵の今を訪ね古きを教えていただきながら蔵のお酒をいただくというツーリズム。スタンプラリー方式にもなっているので全蔵達成の折には県酒造からの記念品もいただける。また各エリアごとの記念品も用意中。

趣旨：日本酒の世界的なブームの中長野県のお酒に対する評価も上がってはきているもののこれから廃蔵になる予定の蔵元も10に上ろうとしていることも事実。もっと長野の日本酒のファンを増やしたい、もっと長野の酒を語る人を増やしたい、長野の酒を世界に知って欲しいと願っての酒ツーリズム。この酒ツーリズムを一緒に企画し動かしていただいている方々を常に募集している。

②起業希望の方たちそれぞれが自分の得意分野で講師となって自分自身を鍛えると同時に得意分野の知識を共有しあって、利用しあって、それぞれの目標を育て実現していこうというセミナーを主催。

③カフェ事業に関わっている人、これから開業したい人のお店のプロデュースや技術・メニューの相談役。

④主婦の方や異業種で珈琲紅茶に興味のある方に向けた、美味しい珈琲セミナーを月4回程度主催

⑤そつはな－卒業を花火で祝う－実行委員会代表

小中高生たちがコロナで楽しみにを奪われる中、せめて卒業式の時くらいは花火で地域の子供達を祝っていきたいという趣旨で2021年にスタート。2022年には未来塾の仲間10名ほどで実行委員会を組織し、7期生上原氏(武舎煙火代表)を中心として活動を展開。

⑥大人と一緒に勉強しあえる仲間塾

☆講習会、研修会等の講師実績

どこかにお呼ばれしてということの一つもない。

前述した自分たちのセミナーでは週に一度は何かしらお話をしている。